

# 留学だより vol. 1

こんにちは！南オーストラリアのアデレード留学中の北川です。オーストラリアでの留学生活も1か月が経ちました。ということで、第1回の留学だよりをお届けします！

## ～留学の形～

私は国や東京都の留学プログラムではなく、民間エージェントを通してアデレードに来ています。まず、私がどうしてこの形態で留学をしているのかを説明します。

### {語学研修}

2025年8月に学校の海外語学研修でアデレードに2週間行きました。



私は以前、海外に行くことが怖く、オーストラリア研修があることで小石川への入学を少しためらっていた時期がありました。そんな私が自分から留学したいと思った経緯やどのようにして留学できたのかについて書きます。

案の定、海外語学研修前は海外での生活に不安しかなく、行きたくないと弱音を吐いた日もありました。直前まで英語への苦手意識は抜けず、飛行機に乗ってもなお引き返したいと思いながらアデレードに着きました。

なんとなく不安を抱えている後輩の皆さんもいるのではないのでしょうか。

しかし、私は2週間の滞在の中で、現地での学校生活や友達との関わりを通し、日本との違いや海外での生活に衝撃を受ける毎日でした。気づいたら、あっという間に帰国の日になっていました。3回も遠足に連れて行ってもらったり、バディの授業と一緒に参加させてもらったり、日本では体験できないことをたくさんさせてもらいました。帰国時に誰よりも別れを惜しんだ自信があります。



これからアデレードに行く後輩の皆さんは、心配せずに、2週間思いっきり楽しんでください！

{日本で}

その後の三者面談で留学すると宣言し、自分でエージェントを探して連絡を取り、家族や先生方ともたくさん話し合い、約2か月のターム留学を実現しました。

私は「どこでもいいから留学したい」という気持ちではなく、もう一度アデレードで、2週間お世話になった学校で学びたいという思いが強かったです。そのため、エージェントの方々にも行きたい学校やこれまでの経緯を最初に伝え、今回の留学を実現することができました。もちろん、自分で進める留学準備は簡単なことばかりではありませんでした。エージェントとのやり取りや必要書類の準備、学校との連絡など、今まで経験したことのないことばかりで、最初は何をどう進めればいいのかも分からない状態でした。

特に印象に残っているのは、書類の多さです。すべて英語で書かれている書類の提出期限を確認しながら必要事項を記入したり、分からないことを調べたり、とても苦労しました。ですが自分で決心し、自分で行動すると決めたからにはやり遂げなければと思ひ、時間をかけて書き終わりました。

また、留学は自分一人で決めれば行けるものではなく、家族や先生方の理解や支えがあってこそ実現できるものだと思ひ改めて感じました。たくさん相談し、不安なことや心配なことをひとつずつ確認しながら準備を進めていきました。支えてくださったみなさんに感謝の気持ちでいっぱいです。

{ターム留学}

このターム留学というのは日本でいう「学期留学」のようなものです。オーストラリアでは1年が合計4ターム（それぞれのタームは約10週間）で構成されています。

ターム1：1月下旬～4月上旬

秋休み（2週間）

ターム2：4月下旬～6月下旬←現在ここで留学中です

冬休み（2週間）

ターム3：7月中旬～9月下旬←語学研修

春休み（2週間）

ターム4：10月下旬～12月中旬

夏休み（1.5か月）

ターム1とターム3の留学が多らしく、実際、私が来ているターム2では学校に私以外の日本人はひとりもいません。その分、最初は不安ばかりでしたが、毎日英語に囲まれる環境だからこそ学べることも多いと感じています。楽しいことばかりではありませんが、現地の先生方や友達、ホストファミリーの優しさ、日本の友達からの応援や手紙に助けられながら、一日一日少しずつ慣れてきた1か月でした。

ではここから実際にアデレードで1か月生活してみて感じたことを書いていこうと思ひます。

～アデレードへ～

まずメルボルン経由でアデレードへ行きました。ターミナル2からターミナル1に行かなければならなかったのですが、途中で道に迷いました。最初はひたすらさまよっていましたが、CAさんとすれ違う度に、どうすればたどり着けるのかを聞き続け、やっとのことで目的地に着くことができました。焦りと不安で全然言葉が出てこずに、つたない英語でたずねていたと思います。

この経験を通して私は、間違ってもいいから自分から行動すること、そして完璧な英語でなくても「伝えよう」とすることが大切なのだと実感しました。

～生活～

ホストファザーとホストマザーと一緒に暮らしています。週末はホストファザーの両親の家によく行きます。ホストファザーの兄弟やその家族も集まって過ごしています。子ども好きでたくさん話しかけてくれる温かい方たちでいっぱいです。



”Are you hungry?” といつも聞いてくれて、たくさん食べさせてくれます。休日はショッピングモールやシティ、ダムなどいろんなところに連れて行ってくれます。田舎で自然も多く、見える星の数もとても多いです。南半球はどんどん冬になっています。最近は雨が多いですが、晴れている日に出かけるのがとても楽しいです。

ホストファザーの両親の家のビンゴが衝撃的だったので紹介します。



まずビンゴカード10枚で1セットです。壺から駒を1つずつ出し、書かれている数字すべてにおはじきを置いていきます。通常のビンゴと同じように、縦・横・斜めのいずれか一列がそろったらビンゴです。また、

○

○

このように、2×2の四角形におはじきを置けた場合もビンゴになります。

女性陣みんなで盛り上がりながら競っていて、数字が読まれるたびに歓声やため息が飛び交っています。最初は数字を見つけるのに精いっぱい、ついていくのが大変でしたが、回を重ねると何回か勝てるようになり、とても嬉しかったです。

～授業～

一日の授業スケジュールは

9:00~10:20 1限

10:20~10:30 HR

10:45~12:05 2限

12:35~13:55 3限

14:10~15:30 4限



このように、ひとコマ 80 分、休み時間 15 分です。水曜日は始業が 10:30 です。

日本よりも授業時間が圧倒的に長く、文字も言葉もすべて英語の環境に最初は戸惑ってばかりでした。私にもわかるように何度も話しかけてくれる友達に毎日助けられています。最初は不安だらけで始まった留学生活でしたが、1か月過ぎた今、毎日新しい発見ばかりでとても充実した日々を送っています。とてもはやいネイティブの英語が聞き取れず落ち込む日や、日本が恋しくなる日もあります。それでも、周りの方々に支えてもらい、楽しい毎日を送っています。

残りの1か月間失敗を恐れず、たくさんの方に挑戦していきたいと思います。

最後まで読んでくれたみなさんありがとうございます！私のターム留学のことが少しでもわかってもらえたら嬉しいです。次回も最後まで読んでくださいね！

18期 北川